



# 2012年1月18日 インドネシアの格上げについて

2012年1月18日、米格付け会社ムーディーズは、インドネシア長期国債の格付けを「Baa3」に上げました。同社によるインドネシアの外貨建て格付けが投資適格級となったのは、1997年12月以来約14年ぶりです。すでに格付け会社フィッチは昨年12月、インドネシアの格付けを投資適格の「BBB-」に格上げしており、3大格付会社のうちS&Pを除く2社でインドネシアは投資適格格付けとなりました。

## ムーディーズによる格上げの主な要因

- ・健全な財政
- ・対外ショックに対する経済の抵抗力の強さ
- ・金融環境悪化時も当局が対応し得る手段を保有
- ・健全な銀行システム

2012年1月18日、ムーディーズは、インドネシアの自国通貨建て長期債および外貨建て長期債の格付けを、「Ba1」から「Baa3」に1段階引き上げました。また、格付けの見通しについては「安定的」としました。

インドネシアは近年、複数の格付け会社より格上げが行われています。2010年7月に日本格付研究所(JCR)がインドネシアの外貨建て長期債の格付けをBB+からBBBへ、自国通貨建て長期債の格付けをBBB-からBBBへ上げました。また、スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)は2011年4月に外貨建て長期債の格付けを「BB」から「BB+」に上げました。フィッチは2011年12月、インドネシアの格付けを投資適格の「BBB-」に格上げしています。

今回の格上げの理由としては、経済成長によりインドネシアは大きな外的ショックに対しても十分回復力を持っていると判断できること、投資支出の伸びやインフラ進展見通しが改善していることなどが挙げられています。

出所: Moody'sの公表文に基づきPCAアセット・マネジメント作成。2012年1月18日現在。

## <ご参考> インドネシア長期国債の格付け

	外貨建て長期債	自国通貨建て長期債
ムーディーズ	Baa3	Baa3
S&P	BB+	BB+
フィッチ	BBB-	BBB-
JCR	BBB-	BBB

データ出所: Bloomberg L.P.に基づきPCAアセット・マネジメント作成。  
2012年1月18日現在。

## 今後の見通しと運用方針: 格上げは想定範囲内

最近のインドネシア株式市場の変動にもかかわらず、同国は格上げとなりました。当社グループのシンガポール運用拠点のインドネシア株式運用担当者は、同国の強固なファンダメンタルズなどを考慮すると、想定範囲内の結果だと考えています。運用担当者は、インドネシア株式運用において、引き続き強固なファンダメンタルズを有し割安と評価される銘柄を発掘し選別していく方針です。

- ・この資料は情報提供のみを目的とするもので、特定の金融商品等の販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。
- ・この資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ・この資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績を示したものであり、将来を保証するものではありません。

120120(03)

PCAアセット・マネジメント株式会社は、世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルデンシャル社(以下「最終親会社」)の間接子会社で、日本における資産運用会社です。最終親会社は160年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。資産運用事業はアジアでは10のマーケットに及び、最終親会社の運用資産は2011年6月30日現在約3,495億ポンド(約45兆円、1ポンド=128.76円)に上ります。なお、最終親会社およびPCAアセット・マネジメント株式会社は、主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とはなんら関係がありません。



## PCA アセット・マネジメント株式会社

PCAアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号  
加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

PCAアセット・マネジメント株式会社は、2012年2月14日に「イーストスプリング・インベストメンツ株式会社」に商号を変更する予定です。